

ERE information

Vol.33 2018年2月26日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/勅使河原 豊
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第33回経済学検定試験：合計応募者数 前回を大幅に上回る！
——『ERE』の平均点は9.2点上昇、『EREマイクロ・マクロ』は例年並み——
- ▶第28回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」：早稲田大学「政治経済研究会」が復活優勝！
- ▶「大学対抗戦」優勝チームを表彰
 - ・主体的で幅広い学びが優勝への道（優勝チーム 牧野圭吾さん）
 - ・次回以降、再び優勝のチーム創りを！（準優勝チーム 井田憲宏さん）
 - ・インプット重視で挑んだERE（個人賞トップ 牧野圭吾さん）
- ▶第29回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第34回ERE実施要領
- ▶委託会場制度利用のご案内

《第33回経済学検定試験》

合計応募者数 前回を大幅に上回る！

『ERE』の平均点は9.2点上昇、『EREマイクロ・マクロ』は例年並み

2017年12月3日（日）に実施いたしました第33回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回は、EREとEREマイクロ・マクロの合計応募者数が1,603名で、前回の第32回試験（2017年7月実施）の合計応募者数（1,174名）を大幅に上回りました。その中で、特に応募者が多かったのが明海大学で、大学の応募者数としては史上最多の237名でした。次に、龍谷大学の92名、琉球大学の71名となっています。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

EREの平均点は、前回を9.2点上回る452.6点となりました。一方、EREマイクロ・マクロの平均点は、前回を30.0点下回る212.7点となっていますが、ほぼ例年並み（第31回の平均点217.4点、第30回の平均点224.0点）となりました。

《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	138.8点	128.4点	47.1点	47.6点	41.5点	49.3点
(前回)	130.5点	125.2点	54.1点	50.0点	48.1点	35.5点
標準偏差	50.10点	51.78点	19.63点	20.94点	21.02点	20.96点
(前回)	52.86点	39.53点	22.36点	21.17点	21.77点	15.44点

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	111.2点	101.6点
(前回)	125.0点	117.7点
標準偏差	49.97点	48.73点
(前回)	60.02点	47.04点

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	101名	1,502名
受験者数	68名	1,261名
平均点	452.6点	212.7点
標準偏差	142.83点	92.14点
最高得点	780点	480点
最低得点	180点	50点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	明海大学	237	20	名古屋学院大学	11
2	龍谷大学	92	21	福島大学	10
3	琉球大学	71	21	旭川大学	10
4	麗澤大学	38	21	酪農学園大学	10
4	専修大学	38	21	拓殖大学	10
6	日本大学	35	21	広島修道大学	10
7	大阪産業大学	30	26	名古屋市立大学	8
8	大分大学	29	27	早稲田大学	7
9	大阪経済大学	21	28	東京大学大学院	6
9	九州産業大学	21	28	立命館大学	6
11	岡山商科大学	20	30	お茶の水女子大学	5
11	沖縄大学	20	30	青山学院大学	5
13	創価大学	19	32	弘前大学	4
14	明治大学	17	32	首都大学東京	4
14	国際教育交流基金	17	34	北海道教育大学	3
16	武蔵野大学	16	35	関東学院大学	2
17	札幌大学	14	36	徳山大学	1
17	立正大学	14	36	新潟産業大学	1
19	長崎県立大学	12			
				個人	729

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」＋「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	早稲田大学	政治経済学部	牧野 圭 吾	S
2			遠 晶	A+
2	東京大学大学院	公共政策学教育部	金重 洸 紀	A+
4	早稲田大学	政治経済学部	清水 皓 裕	A+
5	一橋大学	経済学研究科	蔡 曾	A+
6			露 口 慶 一	A+
7			加 納 典 和	A
8	慶應義塾大学	環境情報学部	相原 秀 太	A
8			長谷川 一 輝	A
10			濱 田 卓	A
11			清 水 邦 敏	A
12	早稲田大学	教育学部	関 根 翔 大	A
13			—	A
13			山 岸 光	A
15			石 川 洸 平	B+
16			篠 崎 誠 志	B+
17	前川公認会計士事務所	所長	前 川 克 博	B+
18	東京理科大学	経営学部	小 林 奈々 恵	B+
18			—	B+
18			太 田 瑛 介	B+
21			趙 実	B+
21			山 村 槇 史	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1			HUANG CHENGYAN	S
1			高 慶 春	S
1			L I U L I S H A	S
1			韓 思 鳴	S
5			C H E N G M I N G	S
5			張 佩 嘉	S
5			Z H A O X I N G Y A	S
5			施 亮 羽	S
5			張 翼 帆	S
10			L I L U X I N	S
10			魏 然	S
10			陳 旻 舒	S
10			魏 靖 宸	S
10			H U A N G Y A J I E	S
10	岡山商科大学	経済学部	劉 冠 宇	S
16			韓 嘉 文	S
16			文 思 鑑	S
16			楊 陽	S
16			楊 瑞 テイ	S
16	明治大学	政治経済学部	高 原 拓 己	S
16	岡山商科大学	経済学部	朱 宇 婷	S
16	琉球大学	法文学部	大 城 元 躍	S
23	福島大学	人文社会学群経済経営学類	高 橋 一 真	S
23			劉 暢	S
23	亜細亜友之会外語学院		S H E N Z H E	S
23			Y I N J I E	S
23			楊 博 健	S
23	一橋大学大学院	経済学研究科	—————	S
23			单 海 格	S
23			吳 梦 影	S
31			王 曼 菲	S
31			H U X I A N G X I A N	S
31			辺 天 姿	S
31			趙 祐 毅	S
31			Y A O J I A	S
31			S H E N B O Y U E	S
31			C H E N G Y O U	S
31	創価大学	経済学部	南 優 人	S
31	京都大学	経営管理大学院	趙 榆 桐	S
31			常 瑞 娟	S
31	琉球大学	法文学部	上 原 大 翼	S

《第28回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

早稲田大学「政治経済攻究会」が復活優勝！

準優勝は東京大学大学院「経済学愛好会」チーム／個人賞トップは牧野圭吾さん

第28回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、12校23チーム、計158名で競われました。

優勝は、早稲田大学「政治経済攻究会」チームでした。1,660点を獲得して、第6回大会（2006年12月3日実施）以来の5回目の優勝となりました。準優勝チームは、1,590点を獲得した東京大学大学院の「経済学愛好会」チームです。第3位には、1,540点を獲得した名古屋市立大学の「外谷ゼミ」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、460点を得点した早稲田大学「政治経済攻究会」チームの牧野圭吾さんと東京大学大学院「経済学愛好会」チームの金重洸紀さんです。なお、個人賞は400点以上10名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は259.24点で、前回は45.01点下回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	政治経済攻究会	早稲田大学	1,660点	415.0点
準優勝	経済学愛好会	東京大学大学院	1,590点	397.5点
第3位	外谷ゼミ	名古屋市立大学	1,540点	385.0点

*参加メンバーの上位4名の総合点です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

《「大学対抗戦」優勝チームを表彰》

第6回以来優勝の早稲田大学「政治経済攻究会」を大村敬一先生が表彰！



早稲田大学「政治経済攻究会」チームは、第6回大会（2006年12月3日実施）以来の5回目の大学対抗戦優勝の栄冠を獲得いたしました。

去る2月5日（月）、優勝した早稲田大学「政治経済攻究会」チームを試験委員である大村敬一先生が表彰いたしました（写真）。早稲田大学「政治経済攻究会」

は、明治44年に創立された伝統あるサークルで、現在、20余名の部員から構成されているとのこと。

過去、第3回から第6回まで4連覇の実績があり、今回第10回大会以来の大学対抗戦参加での優勝となりました。代表の牧野圭吾さんは、今後も「大学対抗戦」に挑戦したいとチームの抱負を語っていました。



優勝校の代表を表彰する大村先生（写真上）と「政治経済攻究会」チームのメンバー（写真下）

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝 早稲田大学「政治経済研究会」

主体的で幅広い学びが優勝への道

この度は第28回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」において優勝することができ、大変嬉しく思います。

「政治経済研究会」は、1911年に学生が主体となって学ぶ自主ゼミとして設立された学術サークルです。経済学の勉強会を週1回行っており、ミクロ経済学とマクロ経済学を1年間で、深くそして幅広く学ぶことを目標としております。また、夏休みや春休みには臨時勉強会も多く行っております。2017年の勉強会は、前期はヴァリアンの『入門ミクロ経済学』を、後期は齊藤誠他著の『マクロ経済学』を使用し、ミクロ・マクロのトピックが一通りは学習済みになるように計画しました。

他方、当会は自主性や自由を尊重しておりますので、E R Eの直接的な対策は、過去の問題を重視した自習という形をとりました。

E R Eは学部で学ぶ範囲を網羅しており、知識の定着度合いや網羅性を確認するには非常に適した試験だと感じております。今後も経済学を幅広く学習していきたい所存であります。

(早稲田大学 政治経済学部 政治経済研究会 牧野圭吾さん)

☆準優勝 東京大学大学院「経済学愛好会」

次回以降、再び優勝のチーム創りを！

はじめに、第28回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」において準優勝という成績を残すことができたことを、「経済学愛好会」のメンバー一同、心より嬉しく感じております。

一方、それと同時に、3連覇のかかった我々にとって今回の「大学対抗戦」で優勝を逃してしまったことは、非常に残念であり、実力不足・準備不足を痛感する良い機会であったと感じております。

次回以降は、再び優勝することができるよう準備を重ね、優勝に相応しいチームを創っていきたいと考えております。

(東京大学大学院 公共政策学教育部 経済学愛好会 井田憲宏さん)

☆個人賞トップ

インプット重視で挑んだ E R E

個人賞トップを獲得することになるとは、夢にも思っておりませんでした。また、私が幹事長を務める「政治経済研究会」としても優勝という結果を残すことができ、大変驚くとともに光栄に思います。私が受験した E R E (6科目)の対策として、まずは各分野の教科書や論文を時間が許す限り多く読み解くようにしました。そうすることで、知識の幅を着実に広げられたことは大きな収穫でした。インプット後に、過去の問題を解いてアウトプットすることで、知識がなるべく定着するよう心がけました。

E R Eは、安易な解法暗記・テクニックでは太刀打ちできない良問が多いと思います。そのため、経済学の基本概念や原理を十全に理解する必要があるように感じました。また、様々なレベルの問題が用意されていることで、幅広い層にとって意義深い試験になっていると思います。

今回得た知識を糧に、経済学の学習を継続していきたいと思っております。

(早稲田大学 政治経済学部 政治経済研究会 牧野圭吾さん)

第29回 E R E ミクロ・マクロ 「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2018年7月1日(日) 実施

●受付期間：2018年4月18日(水)～5月18日(金)〈消印有効〉

※エントリー料：無料

●前回まで参加した54校 (50音順)

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／
九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／
埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／
拓殖大学／中央大学／筑波大学(同大学院)／帝塚山大学／東京大学(同大学院)／
東京理科大学／同志社大学／東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／
名古屋市立大学／名古屋学院大学／名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／
兵庫県立大学／福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／
北海道教育大学／武蔵大学／武蔵野大学／明治大学／山形大学／立命館大学／
琉球大学／和光大学／早稲田大学



日経TEST

経済知力スコアで、キャリアアップのチャンスをつかめ！

<http://ntest.nikkei.jp>

「経済知力」とは、知識や情報を有効に活用して、経済のしくみや流れを理解し、新しいビジネスを生み出す能力のこと。日経TESTは、「経済知力」がどのくらい備わっているかを客観的に測ります。社員の能力判定や昇進・採用、人材育成の目的で導入する企業が増えています。レベルアップの目的で受験する個人も増えています。

全国一斉試験

実施日：2018年6月10日(日)

会場：札幌・盛岡・仙台・東京・横浜・新潟・金沢・
名古屋・京都・大阪・広島・高松・福岡・熊本

出題形式：マークシート方式による四肢択一

受験料：5,400円(税込み)

申込締切：春季試験 2018年5月9日(水)

お申し込みは

日経TEST

検索

就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

■特 徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

■出題科目等

〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

■活 用 例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

■備 考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国12の試験会場において実施しており、年間約3,000名の方々が受験しています。その主な受験者層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業等の受験者となっています。

《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

2018年度 第34回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 34 回
試験日	2018年7月1日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2018年4月18日（水）～2018年5月18日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4 択一式／90問，1 問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 34 回
試験日	2018年7月1日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2018年4月18日（水）～2018年5月18日（金）〈消印有効〉
受験料	3,240円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
出題形式	4 択一式／50問，1 問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

委託会場制度利用のご案内

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものです。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込みをいただく場合は「団体受験申込制度」があり、一定の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。

詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

TEL：03（3267）4821 FAX：03（3267）4999 e-mail：info@ere.or.jp